



プレスリリース
2020年8月11日
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
PayPay 株式会社

「セブン-イレブンアプリ」に決済サービス「PayPay」を搭載

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）とPayPay株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員CEO：中山 一郎）は、「セブン-イレブンアプリ」内の決済機能として、2020年10月以降、キャッシュレス決済サービス「PayPay」を搭載いたします。

【PayPay 登録後のトップ画面】



【「支払う」ボタン押下後、バーコードが表示】



※画像は開発中のイメージです。

「セブン-イレブンアプリ」に「PayPay」が搭載されることで、画面上に「PayPay」の支払いバーコードが表示され、全国のセブン-イレブン店舗で、決済が可能となります。

また、「セブン-イレブンアプリ」の会員コード提示で受け取れるバッジやセブンマイル（税抜200円購入で1マイル）と、PayPay残高による支払いで受け取れるPayPayボーナス（支払額の最大1.5%）が同時に受け取れるので、さらにお得にご利用いただけます。

昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響で、人を介した支払い手段に対して不安を抱く方が増えてきております。

本機能では、「セブン-イレブンアプリ」の会員コード読み取りと「PayPay」でのお支払いが同時に完了するため、安全・安心で効率的な「スマート支払い」を実感いただけます。

セブン-イレブン・ジャパンとPayPayは、今後もお客様の利便性を高めるため、さらなるサービスや特典の拡充に努めてまいります。

※「PayPay」は、1円単位でお買い物に利用できる電子マネーで、PayPay加盟店でのお買い物や、PayPay公式ストアなどオンラインショッピングでも利用できます。「PayPay」のPayPay残高には種類があり、それぞれ有効期限や使える機能が異なりますが、「セブン-イレブンアプリ」における「PayPay」の支払いにおいては、PayPay残高の全種類（PayPayマネー、PayPayマネーライト、PayPayボーナス、PayPayボーナスライト）および登録済のクレジットカードが利用できます。PayPay残高の種類とその説明については、[こちら](https://paypay.ne.jp/help/c0048/)をご覧ください。<https://paypay.ne.jp/help/c0048/>

※「セブン-イレブンアプリ」に搭載した「PayPay」でお支払いいただいた場合も「PayPayステップ」のカウント対象になります。付与率については[こちら](https://paypay.ne.jp/event/paypay-step/)をご確認ください。<https://paypay.ne.jp/event/paypay-step/>

主な仕様	PayPayアプリ	「セブン-イレブンアプリ」内のPayPay機能
決済可能な店舗	PayPay加盟店でのご利用可	全国のセブン-イレブン店舗
支払い方法 (※1)	・ PayPay残高でのお支払い ・ クレジットカードでのお支払い	・ PayPay残高でのお支払い ・ クレジットカードでのお支払い
PayPay残高への チャージ (※2)	・ 銀行口座 ・ セブン銀行ATM ・ ヤフオク!、PayPayフリマ売上金 ・ ヤフーカード ・ ソフトバンクまとめて支払い ・ ワイモバイルまとめて支払い	・ セブン銀行ATM PayPayアプリ登録済みで既にチャージ方法を登録済みの場合、銀行口座など(※3)からチャージ可能となります。

※1 支払い方法の登録は、PayPayアプリでのみ可能です。

※2 PayPayアプリが未登録の場合、「セブン-イレブンアプリ」内のPayPay機能へのチャージは、セブン銀行ATMからのみ可能です。また、チャージ方法の登録はPayPayアプリでのみ可能です。

※3 その他、ヤフーカード、ソフトバンクまとめて支払い、ワイモバイルまとめて支払いでもチャージが可能です。

<ご参考>

■ 「セブン-イレブンアプリ」について

セブン-イレブンアプリは、セブン-イレブン店舗での日々のお買い物を通じて、「楽しい」「お得な」体験を提供することを目的としたスマートフォンアプリとして、2018年6月に運用開始されました。

買い物時に会員コードを提示するだけで、バッジやセブンマイルが貯まります。また、お得なクーポンや新商品・キャンペーン等の情報をお届けし、お客さまお一人おひとりとのコミュニケーションをかなえるサービスです。

■PayPay 株式会社が提供するキャッシュレス決済サービス「PayPay」の主な特長

大型チェーン店はもちろん、中小規模の店舗や、自動販売機やタクシー、公共交通機関への支払いまで、日本全国に拡大し続けているキャッシュレス決済サービス。オンラインサービスでの支払いや公共料金の請求書払いなど、さまざまな決済シーンでも利用できます。また、ユーザー間でPayPay残高（PayPayマネー、PayPayマネーライト）を手数料無料で「送る・受け取る」機能や、投資の疑似体験「ボーナス運用」など、決済以外の利用方法も広がっています。さらに、24時間365日相談可能な電話窓口を設置し、万が一被害にあった場合に原則PayPayが全額補償する制度を設けるなど、ユーザーが安心して便利にご利用いただける環境づくりを行っています。

補償については、[こちら](https://paypay.ne.jp/help/c0117/)をご覧ください。 <https://paypay.ne.jp/help/c0117/>

※ このプレスリリースに記載されている会社名、屋号および製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。